

令和4年度 いのちの授業 事例集（高校）【技術（職業）・家庭】

掲載数

28

管轄	学年	教科等	テーマ	内容	参考事項（講師・教材等）
1 神奈川県立	高1	技術(職業) ・家庭	擬似保育体験	<p>【授業のねらい】 ・養育者としての責任感や愛着を育ませることをねらいとし、生卵を赤ちゃんと見立てた1週間の擬似保育体験を行った。</p> <p>【方法】 生徒に生卵を赤ちゃんと見立て、1週間世話をさせた。</p> <p>【生徒の感想】 ・親になることの責任と、子どもを育てる大変さをとても感じた。 ・私がここまで成長してくるために、私の父・母・周りの人などたくさんの人の支えがあったことを感じ、自分の命は当たり前と思わずもっとこれまで以上に大切にしていかなければいけないと思いました。 ・命って大切なんだなーと思った。自分たちがここにいるのはすごいことなんだと思った。</p>	家庭科職員
2 神奈川県立	高3	技術(職業) ・家庭	生命の誕生	妊娠から子どもの誕生までの母体の管理、胎児の発育と母体の変化について理解を深め基本的な知識を身に付ける。	教科書・資料集
3 神奈川県立	高3	技術(職業) ・家庭	子どもの保育	高校3年生の自由選択科目「子どもの発達と保育」において、乳幼児の心身の発達や子どもの保育を取り巻く環境等について学習した。特に核家族が主流となっている中で、養育者の育児不安や孤独感が産後うつや育児ストレスにつながる恐れがあること。安心・安全の場である保育所における乳幼児の死亡事故等について考え、日本の保育環境の課題と具体的方策等について、調べ学習やグループワークを通して考えていた。保育士や幼稚園教諭を志す生徒が多く受講していることから、こうした学びを通していのちの大切さ・尊さを感じている様子であった。	「子どもの発達と保育育つ・育てる・育ち合う」教育図書
4 神奈川県立	高複合	技術(職業) ・家庭	子どもの発達と保育	「子どもの発達と保育」は子どもの発達の特性や発達過程、保育などに関する知識と技術を身につけ、子どもの発達や子育て支援に寄与する能力と態度を育てることを目指している。学習内容は、子どもの発達の特性、発達過程、福祉と子育て支援、生活から保育に至るまで多岐にわたる。実際に近隣の幼稚園で実習に行っており、生徒は生き生きと活動している。	実施月は通年で行っている。

5	神奈川県立	高3	技術(職業) ・家庭	「このとりのゆりかご」を通し、児童福祉のあり方を学ぶ	3年生の保育者を目指す生徒たちが選択する自由選択科目「発展保育」で実施した。児童福祉のあり方を多面的に学ぶため、熊本県にある「このとりのゆりかご」出身者から、生い立ち・現在について、オンラインによる講義形式で話を伺った。講義に向けての事前学習としてニュース動画を視聴したり、里親制度について学んだりした。生徒たちは児童福祉への関心を一層高めた。	講師は、「このとりのゆりかご」出身であることを告白した学生。 (参考資料)ANNニュース動画「告白～僕は「ゆりかご」に預けられた【テレメンタリー】」
6	神奈川県立	高2	技術(職業) ・家庭	防災・減災	①東日本大震災、阪神淡路大震災、各地での土砂災害時の被害状況の動画を視聴 ②被災者アンケートから、課題を話し合う ③2次災害や災害を最小限に食い止めるためにどんな行動を心掛けるか話し合う ④被災時の食事について、ライフラインがstopした状況下において、健康を維持するためにどのような食材(備蓄)が必要で、どんな調理が考えられるか話し合う ⑤防災食を調理実習として実施、体験する	NHK教育DVD、ポリ袋調理紹介動画などを利用
7	神奈川県立	高2	技術(職業) ・家庭	「命の大切さと、それをこの世におくり出す責任」「愛することと性交」など	保育分野の授業で学習した、命の大切さと、それをこの世におくり出す責任を振り返りながら、小説の一部を読んで、感想を書かせた。	教科担当がクラス単位で1時間かけて実施した。 (参考資料)河野美代子著『さらば悲しみの性』
8	神奈川県立	高1	技術(職業) ・家庭	家庭基礎	1年次生「家庭基礎」の授業で、命のはじまりについて学び、そのなかで人工妊娠中絶について触れた。また、出生前診断について自分が妊婦だったら検査するのかを提示し命について考えさせた。	家庭科教諭
9	神奈川県立	高2	技術(職業) ・家庭	子どもの発達と保育・福祉	乳幼児期の発育・発達の特徴についての学習において、乳幼児は心身のあらゆる部分が大人とは異なり発達途中であるがゆえに、感染症にかかったり、不慮の事故によって命を落とすことが多いことを学習させた。その結果、子どもの命を守るのは親をはじめとする周囲の大人であるということや、今の自分がいるのは周りの大人に守られてきた結果であることに気づいた生徒が多数みられた。	「新家庭総合」パートナーシップでつくる未来実教出版
10	神奈川県立	高3	技術(職業) ・家庭	災害時の食事について	事前に災害時の食事について学習をしたのち、自分の1日分のエネルギー量を踏まえた災害時の食事の献立を考えた。授業内で発表し、命をつなぐ災害時の食事について考えを深めた。	生活学Navi(実教出版)
11	神奈川県立	高2	技術(職業) ・家庭	「赤ちゃんポスト」について考える	熊本県内の病院に設置された赤ちゃんポストについての、ニュース番組を視聴した後、各自がスマホやPCを使って検索しながらワークシートに記入。記入し終わったら、4人程度のグループで、分かったことや考えたことを共有した。ポストに預けられた赤ちゃんがその後どのような生活を送っているかを知るだけでなく、背景にある孤立出産や貧困の問題など、様々な面から命に係わる諸課題について考えていた。	2年家庭基礎の保育分野で実施。 ニュース番組の視聴とワークシートの記入。

12	神奈川県立	高2	技術(職業) ・家庭	人生100年のライフ・デザイン～高齢期	NHK「認知症・ともに新しい時代へ」の視聴を中心に、高齢者の心身の変化について学び、支える「人」が不可欠である事に気づかせた。その後に「子育て」の領域につなげ、「命の連鎖」という軸を明確に示す事で、一人ひとりのライフデザインに変化があった。	高2の12月から1月にかけて実施
13	神奈川県立	高1	技術(職業) ・家庭	女性の基礎体温表から考える妊娠の成立について	「家庭基礎」の授業で実施した。女性の基礎体温表から読み取る排卵日から始まり、低温期と高温期があるのはなぜなのか、ホルモンバランスの関係から、青年期における性的自立に向けた理解を深めた。	
14	神奈川県立	高3	技術(職業) ・家庭	生命の誕生	保育分野の導入として、出産を通して「生命の誕生」を学んだ。教科書だけでなく、動画「丘の上のお医者さん 女性と男性のクリニック」(神奈川県HPより)、NHK高校講座の資料を活用し、授業をすすめた。妊娠・出産を人生のライフイベントとしてとらえ、生徒からは「社会に出る前に考え直すことができ良かった」等の感想が寄せられ、自分事としてどのように向き合っていくかを考えることができていた。	教科書：新家庭総合 パートナーシップでつくる 未来(実教出版) 資料集：最新 生活ハンド ブック (第一学習社)
15	神奈川県立	高1	技術(職業) ・家庭	「子どもの生活と保育」	1年生の子どもの発達と保育(家庭総合)において、DVDや赤ちゃん人形などの子どもの成長に関する題材を通して、身体的・精神的発達についてより深く理解し、そこから生きていくことの喜びや命の大切さを学習した。また、各家庭における子育ての中で、自他の生命を慈しみ生きていくことの大切さと、幼児の発達と環境との関係について考えさせ、乳幼児期は一生を通じて人間の発達の基礎をつくる最も重要な時期であること学んだ。	・家庭総合「明日の生活を築く」(開隆堂) ・新生児人形 ・DVD「活かす～幼児や高齢者とのかかわり方」(開隆堂)、「幼児の発達と生活シリーズ」(東映 教育映像部)
16	神奈川県立	高1	技術(職業) ・家庭	子どもの発達と保育	子育てに欠かせない紙おむつの構造や性能を確かめつつ、経済的負担と子どもへの身体的負担について考えさせた。グループになり、構造を確認したり水を含ませながら機能性や重量などを体感させた。交換枚数を減らせば経済的負担が減るが、尿を大量に含んだ紙おむつは体重の5分の1近くにもなると知ることができた。子どもの身体への負担をかけ過ぎず、濡れたことの不快感などの情緒を育てることの難しさを考えることができた。	新生児用紙おむつ
17	神奈川県立	高1	技術(職業) ・家庭	健康で安全な生活	食生活分野：“健康に食べる”ためにはどのように栄養を摂取するかについて学習した。 保育分野：子どもの健康な発育について、発達段階やかかわり方について学習した。 住生活：防災について学習した。 それぞれの分野で、プリント学習や実習、体験を行った。 実際に体験する中で、「いのちにかかわること」で何が困難なのか、どんな知識が役立つのか等、気づいたり考えたりすることができた。	東京書籍「家庭基礎 自立・共生・創造」 第一学習社「最新 生活ハンドブック」 プリント
18	神奈川県立	高1	技術(職業) ・家庭	命と人権について	家庭基礎の共生社会・住生活分野でホームレスについて考えた。ワークやDVDの視聴から生徒たちは、ホームレスの方々の命や人権が守られていない現状を知り、誰もが適切な住環境にない「ホームレス」になりかねないことを学んだ。生徒の感想の中には、自分が現在大きな意味での「ホームレス」であるかもしれないと記述する生徒もいた。	DVD 「ホームレス」と 出会う子どもたち

19	神奈川県立	高2	技術(職業) ・家庭	「いのちのはじまり～子どもの身体の発達と発育、心の発達～」	子どもの身体の発育と発達について、新生児の特徴や運動機能の発達の具体例を柱に学んだ。自らの発達の過程とも関連付けて考えさせた。子どもの心の発達には、認知・情緒・言語の発達の段階があり、自我の芽生えとともに親に反抗することも多くなることを学んだ。また、子どもの社会性の発達には遊びが大切であることも学んだ。これらの知識に基づいて、自分たちが親になったとき、子どもにどのように接するか、話し合いを行った。	
20	神奈川県立	高複合	技術(職業) ・家庭	生活体験発表会	本校通信制で学ぶ在校生が、入学に至る思いと入学後に学んだ知識と経験、そしてこれからの生き方を自分の言葉で表現した。他者の発表を聞くことで、自分以外の他者を理解し、多くの生徒が将来を考えるきっかけづくりとなりました。	発表者 本校在籍の生徒5名 全学年
21	神奈川県立	高1	技術(職業) ・家庭	生命の誕生	生命の誕生について、DVDの動画を活用した授業を行った。妊娠から出産、新生児の様子を確認した。胎盤を通じて酸素や栄養を受け取ることや妊娠期間の母親や周りで気を付ける留意点を取り扱った。生命の誕生は奇跡的なことであり、子どもを産み育てていくことの大切さを感じた生徒が多くみられた。	講師は家庭科の教諭
22	神奈川県立	高4	技術(職業) ・家庭	住まいと子どもの危険	子どもの事故と安全について、家庭内のイラストから子どもにとって危険なところはどこか見つけ出し、事故やけがにつながるためにはどうすればよいのか考えた。実際の家庭内事故の事例を伝え、子どもがいる世帯だけでなく、普段の生活の中でも危険から身を守るために自分たちができることについて話し合った。	子どもの発達と保育担当教諭 教科書 「子どもの発達と保育 育つ・育てる・育ち合う」 (教育図書)
23	神奈川県立	高3	技術(職業) ・家庭	子どもの発達と保育	出産後の乳児の世話体験として新生児の人形を1時間抱きながら授業に参加し、レポートの提出をさせた。生徒は子どもを抱く(育てる)ことの大変さを実感し、命をはぐくむことについて改めて考える機会となっている。また、乳幼児の心身の発達、食事、保育者として何を大切にするのか、新聞記事の考察など年間を通じ学習している。今年度はさらに防災食としてビニール袋炊飯で白米とおかゆを同時に作り、非常時も多様な人が命をつなぐ力となる温かい食事の作り方と大切さを学んだ。	教員 (教科書・自作プリント、新聞記事 等)
24	神奈川県立	高2	技術(職業) ・家庭	食生活 子ども	健康な生活を送るために必要な栄養とライフステージごとの特徴、必要量等について学び、自分の食生活を振り返りながら日常食の献立を作成した。保育では乳幼児の心身の発達の特徴や、幼児の命のとらえ方をアニミズムの表現などからとらえた。また、子どもの権利条約や児童福祉法、児童虐待防止法等から社会の中での子どもの捉え方や支援を学んだ。	教員 (教科書・自作プリント 等)
25	神奈川県立	高3	技術(職業) ・家庭	「いのちを頂く」	「いのちを頂く」ー養鶏をしながら自給自足循環型生活を実践している田中さんの生活から、いのちを頂く大切さを知る。また、都市部での生活の循環のない一方通行の生活、過剰な生産と消費に偏った現代社会について問題提起を促し、視聴後の感想において自分の”生き方”を見つめなおす機会とする。	教材として、YouTube動画を使用した。

26	神奈川県立	高1	技術(職業) ・家庭	「山地保全」	「山地保全」－国土防災株式会社の田中賢治様をお招きし、山地保全による国土の保全について学んだ。国土保全は農地や林地を保全するだけでなく山間地域に居住する住民の安全を確保する上で重要となる。今回の授業は教科[森林科学]での学びが森林からはじまる防災として、命をまもる働きがあることを意識する機会とした。	国土防災株式会社 取締役 事業本部長
27	神奈川県立	高2	技術(職業) ・家庭	保育分野 「子どもと共に育つ」	子育ては、女性(妻)が中心となっていくのではなく、男性(夫)も参加し、夫婦で協力して子どもの命をはぐくんでいくことの大切さを学んだ。特に、子どもの心身の発達や現代の子育て環境の特徴や課題については、成年年齢の引き下げに伴い、18歳で結婚が可能となることもあり、遠い先の将来のことではなく、身近なこととして意欲的に学習していた。	教科書及び視聴覚教材 東京書籍「家庭総合 自立・共生・創造」 DVD教材 「子どもの成長～新生児から幼児まで～」
28	神奈川県立	高2	技術(職業) ・家庭	保育	生命の誕生から乳幼児が心身ともに成長していく過程について、それぞれの年代ごとに特徴をまとめながら学習した。また、絵本の読み聞かせを通して、子どもとの関わり方や伝え方などについても体験した。	